



2024年9月25日

各位

会社名 株式会社 ROXX  
代表者名 代表取締役 中嶋 汰朗  
(コード番号: 241A 東証グロース市場)  
問合せ先 取締役 上級執行役員 SVP of Corporate 山田 浩輝  
(TEL 03-6777-7070)

### 東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、2024年9月25日に東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。今後とも、なご一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

2024年9月期(2023年10月1日から2024年9月30日)における当社の業績予想は、次のとおりであります。

【個別】

(単位: 百万円、%)

項目	決算期	2024年9月期 (予想)		2024年9月期 第3四半期累計期間 (実績)		2023年9月期 (実績)		
		対売上 高比率	対前期 増減率		対売上 高比率		対売上 高比率	
売上高		3,525	100.0	69.9	2,423	100.0	2,075	100.0
営業損失(△)		△450	—	—	△511	—	△746	—
経常損失(△)		△469	—	—	△514	—	△742	—
当期(四半期)純損失(△)		△487	—	—	△516	—	△746	—
1株当たり当期 (四半期)純損失(△)		△71円30銭			△75円99銭		△111円81銭	
1株当たり配当金		0円00銭			0円00銭		0円00銭	

- (注) 1. 当社は、連結財務諸表及び四半期連結財務諸表を作成しておりません。  
2. 2023年9月期(実績)及び2024年9月期第3四半期累計期間(実績)の1株当たり当期(四半期)純損失は、期中平均発行済株式数により算出しております。  
3. 2024年9月期(予想)の1株当たり当期純損失は、公募予定株式数(325,000株)を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しております。

## 【2024年9月期業績予想の前提条件】

本資料に記載の2024年9月期の業績予想数値は、2023年10月～2024年4月までの実績数値に、2024年5月以降の予想数値を合算して策定した数値となっております。

(当社全体の見通し)

当社は「時代の転換点を創る」をミッションとし、テクノロジーを活用することでノンデスクワーカー（注）1.の正社員化を推進し、低年収層の所得向上を目指すHR Techカンパニーであります。ノンデスクワーカー向け転職支援プラットフォームサービス「Zキャリア」及びリファレンス/コンプライアンスチェックサービス「back check」を展開しております。

当社の事業が対象とする市場はノンデスクワーカーの人材市場であります。当社では我が国においてノンデスクワーカーの労働者数は約3,457万人（注）2.、ノンデスクワーカーの年間転職者数は約209万人（注）3.、ノンデスクワーカーの人材市場規模は約6,500億円（注）4.と試算しており、ホワイトカラー・医療領域の人材市場よりも大きな市場規模が存在すると考えております。また、Zキャリアがターゲットとするノンデスク領域では、事業の継続及び拡大において正規雇用社員数の確保が不可欠であることから、足元の正規雇用社員不足に加え、急激な労働人口の減少を背景に、引き続き採用需要は拡大すると考えております。

今後の方針としては、主力サービス「Zキャリア」において蓄積されたデータの活用、AI技術を活用したサービス開発強化により、AI面接を受けた直後に即時的に合否判断、内定オファーが出る等の「早い」選考・転職体験の構築及びマス広告を中心とする求職者からのサービス認知率の向上により、ノンデスク領域における確固たるポジショニングの確立を目指してまいります。当該ノンデスク領域は従来の人材支援サービスが行き届いていない市場であることから、いち早くユーザーが求めるサービスを市場に投下し、高い売上高成長率を維持することを目指しております。

このような状況の下、当社の2024年9月期の業績予想は売上高3,525百万円(前期比69.9%増)、450百万円の営業損失(前期は746百万円の営業損失)、469百万円の経常損失(前期は742百万円の経常損失)、487百万円の当期純損失(前期は746百万円の当期純損失)を見込んでおります。昨年度比にて大きな増収を見込む一方で、引き続き「Zキャリア」における求職者会員登録数の拡大及びサービス開発強化への先行投資を継続した結果、継続的な営業損失の発生を見込んでおります。

なお2024年9月期第3四半期までの実績として、売上高2,423百万円、営業損失511百万円、経常損失514百万円、四半期純損失516百万円となっております。

- (注) 1. オフィスやデスクから離れ、主に製造・建設・運輸・サービス業等の現場で活躍する労働者のこと。当該領域で働いている労働者は非正規雇用の割合がホワイトカラーよりも高く、年収400万円未満の労働者比率も高い。
2. 厚生労働省「令和4年雇用動向調査結果の概況」より情報通信業、金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業、学術研究、専門・技術サービス業、教育、学習支援業、医療、福祉以外の産業の常用労働者数。
3. 厚生労働省「令和4年雇用動向調査結果の概況」より以下の方法にて独自に推計。パートタイム労働者を除いた一般労働者への転職の中で情報通信業、金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業、学術研究、専門・技術サービス業、教育、学習支援業、医療、福祉以外への業種への年間転職人数の合計にて算出。
4. (注) 3.に記載の年間転職者数に国税庁「令和4年分民間給与実態統計調査結果」における年収400万円未満比率(約52.6%)及びZキャリアの平均成約単価(約60万円)を乗じて算出。

## (1) 売上高

当社はHR Tech 事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しておりますが、売上高は「Z キャリアサービス」「back check サービス」により構成されております。

### 〈Z キャリアサービス〉

Z キャリアサービスはウェブサービスを通して2つの主要サービスを提供しております。1つ目は求人企業に対するノンデスクワーカーを中心とする求職者の紹介です。紹介した求職者が入社に至った場合に、採用成果報酬及び採用事務手数料を受領しております。2つ目は人材紹介会社に対して求人情報プラットフォームを提供しており、プラットフォーム利用料として月額利用料を受領しております。人材紹介会社はZ キャリアに掲載されている求人、プラットフォーム経由で求職者を紹介することができ、紹介した求職者が入社に至った場合には採用成果報酬を取得することができます。

採用成果報酬及び採用事務手数料の売上計画は過去実績における求職者の入社人数及び1名あたりの採用成果報酬、手数料率をベースにマーケティング施策による求職者数の増加及びプラットフォームを利用する人材紹介会社数の増加、営業人員の拡充による求職者の入社人数の増減数を見込んで算出しております。

プラットフォーム利用料の売上計画は過去実績における契約社数、一社あたりの契約金額をベースに、マーケティング施策による契約社数及び一社あたりの契約金額の増減を見込んで算出しております。

以上の結果、2024年9月期におけるZ キャリアサービスの売上高は2,963百万円(前期比80.4%増)を見込んでおります。売上高成長の要因としては積極的なマーケティング施策、営業人員の増加の結果、求職者の入社人数が前期比50%程度の増加を見込んでいること、人材紹介会社の契約社数が20%程度の増加を見込んでいることが挙げられます。なお2024年9月期第3四半期までの実績として売上高は1,999百万円となっております。

### 〈back check サービス〉

back check サービスはWeb サービスを通して第三者評価を取得するリファレンスチェック及び犯罪歴・経歴等を調査するコンプライアンスチェックを提供しており、プラットフォーム利用料として月額利用料を受領しております。

プラットフォーム利用料の売上計画は過去実績における契約社数、一社あたりの契約金額をベースに、マーケティング施策による契約社数及び一社あたりの契約金額の増減を見込んで算出しております。

以上の結果、2024年9月期におけるback check サービスの売上高は562百万円(前期比30.0%増)を見込んでおります。売上高成長の要因としてはコンプライアンスチェックの実施件数増加に伴い一社あたりの契約金額が30%程度の増加を見込んでいることが挙げられます。なお2024年9月期第3四半期までの実績として売上高は424百万円となっております。

以上を踏まえ、2024年9月期の売上高は3,525百万円(前期比69.9%増)と高い成長を見込んでおります。なお2024年9月期第3四半期までの実績として売上高は2,423百万円となっております。

## (2) 売上原価、売上総利益

売上原価は主にZ キャリアサービスのカスタマーサポート業務に関わる給料賃金、エンジニアの給料賃金、back check サービスに関する外注費で構成されております。給料賃金はZ キャリアサービスのプラットフォーム拡大に伴い、カスタマーサポート及びエンジニアの人員数が増加することで増加を見込んでおります。外注費に関してはback check サービスのコンプライアンスチェック売上増加に伴い増加を見込んでおります。

以上を踏まえ、2024年9月期の売上原価は398百万円(前期比19.0%増)、売上総利益は3,127百万円(前期比79.7%増)を見込んでおります。なお2024年9月期第3四半期までの実績として売上原価は332百万円、売上総利益は2,090百万円となっております。

## (3) 販売費及び一般管理費、営業利益

販売費及び一般管理費は主に人件費及び業務委託費、広告宣伝費で構成されております。人件費及び業務委託費に関してはZキャリアサービスにおける営業職、エンジニア職の人員拡大に伴い1,760百万円(前期比45.9%増)、広告宣伝費は求職者の会員登録数増加を企図した、デジタル広告等のマーケティング費用として43.5%増を見込んでおります。

以上を踏まえ、2024年9月期の販売費及び一般管理費は3,577百万円(前期比43.9%増)、450百万円の営業損失(前期は746百万円の営業損失)を見込んでおります。なお2024年9月期第3四半期までの実績として販売費および一般管理費は2,602百万円、営業損失は511百万円となっており、2024年9月期第4四半期においては四半期会計期間での黒字化を見込んでおります。要因としては第3四半期までの求職者集客数及び営業人員の増加の結果として、売上高を見込んでいることが挙げられます。

#### (4) 営業外収益・費用、経常利益

営業外費用の予測値については業績予想の策定時点で個別に見積りが可能なものを見込んでおり、営業外費用について支払利息、上場関連費用等の発生により38百万円の計上を見込んでおります。

以上を踏まえ、2024年9月期は469百万円の経常損失(前期は742百万円の経常損失)を見込んでおります。なお2024年9月期第3四半期までの実績として経常損失は514百万円となっております。

#### (5) 特別利益・損失、当期純利益

特別損益の予想値については、業績予想作成時点で個別に見込んでいるものはございません。

以上を踏まえ、487百万円の当期純損失(前期は746百万円の当期純損失)を見込んでおります。なお2024年9月期第3四半期までの実績として当期純損失は516百万円となっております。

#### 【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合がございます。

以 上



## 2024年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年9月25日

上場会社名 株式会社ROXX 上場取引所 東  
コード番号 241A URL <https://roxx.co.jp>  
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)中嶋 汰朗  
問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)山田 浩輝 (TEL)03(6777)7070  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年9月期第3四半期の業績（2023年10月1日～2024年6月30日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第3四半期	2,423	—	△511	—	△514	—	△516	—
2023年9月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第3四半期	△75.99	—
2023年9月期第3四半期	—	—

(注) 1. 当社は、2023年9月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2023年9月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2024年9月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため、また、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第3四半期	3,145	256	8.1
2023年9月期	1,484	313	21.0

(参考) 自己資本 2024年9月期第3四半期 255百万円 2023年9月期 311百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年9月期	—	0.00	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年9月期の業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,525	69.8	△450	—	△469	—	△487	—	△71.31

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期3Q	6,948,170株	2023年9月期	6,697,900株
② 期末自己株式数	2024年9月期3Q	一株	2023年9月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期3Q	6,791,741株	2023年9月期3Q	一株

(注) 当社は、2023年9月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2023年9月期第3四半期の期中平均株式数を記載しておりません。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載される業績見通し等の将来に関する記述は、当社の現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(収益認識関係)	10
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間の我が国経済は、社会経済活動の正常化が進展すると共に、企業収益や個人消費の持ち直しが見られ、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、世界的な金融引締めに伴う為替変動の影響、継続的な物価上昇圧力に伴う世界経済の下振れリスクにより、依然として先行きが不透明な状況にあります。一方で当社の主たる領域としているノンデスクワーカー領域においては、引き続き慢性的な人手不足により高い有効求人倍率水準を維持しております。

このような状況のもと、当社は「時代の転換点を創る」をミッションに掲げ、ノンデスクワーカー向け転職支援プラットフォーム「Zキャリア」とオンライン完結型のリファレンス/コンプライアンスチェックサービス「back check」を運営してまいりました。

当第3四半期累計期間においては、「Zキャリア」のプラットフォーム拡大に向けた求職者集客及びダイレクターリクルーティング機能開発の強化、「back check」のコンプライアンスチェックの自動化への開発投資をおこなってまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間における「Zキャリア」の売上高は1,999,289千円となりました。「back check」の売上高は424,149千円となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は2,423,439千円、営業損失は511,842千円、経常損失は514,400千円、四半期純損失は516,118千円となりました。

なお、当社はHR tech事業の単一セグメントであるため、セグメント別の業績の記載をしておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (財政状態)

##### (資産)

当第3四半期会計期間における総資産は3,145,726千円(前年度末比1,661,108千円の増加)となりました。

流動資産は2,995,402千円(前年度末比1,627,728千円の増加)となりました。これは主に、現金及び預金の増加1,494,785千円、求職者紹介による取引が伸長したことによる売掛金の増加70,128千円、営業未収入金の増加40,100千円、その他の増加13,703千円によるものであります。

固定資産は150,323千円(前年度末比33,379千円の増加)となりました。これは主にオフィス増床に伴う敷金及び保証金の増加41,449千円によるものであります。

##### (負債)

当第3四半期会計期間における負債は2,888,734千円(前年度末比1,717,230千円の増加)となりました。

流動負債は1,712,831千円(前年度末比624,493千円の増加)となりました。これは主に、求職者紹介による取引が伸長したことにより営業未払金の増加120,952千円、従業員数の増加に伴う未払金の増加6,309千円、1年内返済予定の長期借入金の増加429,453千円、その他の増加69,466千円によるものであります。

固定負債は1,175,903千円(前年度末比1,092,737千円の増加)となりました。これは主に長期借入金の増加1,092,737千円によるものであります。

##### (純資産)

当第3四半期会計期間における純資産は256,991千円(前年度末比56,121千円の減少)となりました。これは主に、四半期純損失による利益剰余金の減少516,118千円、増資による資本金の増加229,998千円、資本準備金の増加229,998千円によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期の業績予想については、本日開示いたしました「東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」をご参照ください。

なお、当該業績予想は、当社が本日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	781,584	2,276,369
売掛金	277,500	347,629
営業未収入金	269,556	309,657
その他	52,562	66,265
貸倒引当金	△13,530	△4,519
流動資産合計	1,367,673	2,995,402
固定資産		
有形固定資産	46,582	42,782
投資その他の資産	70,361	107,540
固定資産合計	116,943	150,323
資産合計	1,484,617	3,145,726

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	471,175	592,128
短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	27,626	457,079
未払金	288,667	294,977
未払法人税等	3,407	1,717
その他	247,461	316,928
流動負債合計	1,088,338	1,712,831
固定負債		
長期借入金	83,166	1,175,903
固定負債合計	83,166	1,175,903
負債合計	1,171,504	2,888,734
純資産の部		
株主資本		
資本金	99,000	328,998
資本剰余金	2,280,433	2,510,432
利益剰余金	△2,067,618	△2,583,737
株主資本合計	311,815	255,693
新株予約権	1,298	1,298
純資産合計	313,113	256,991
負債純資産合計	1,484,617	3,145,726

(2) 四半期損益計算書  
第3四半期累計期間

(単位：千円)	
当第3四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	
売上高	2,423,439
売上原価	332,454
売上総利益	2,090,985
販売費及び一般管理費	2,602,828
営業損失(△)	△511,842
営業外収益	
ポイント還元収入	11,710
その他	1,963
営業外収益合計	13,674
営業外費用	
支払利息	13,764
株式交付費	1,972
その他	495
営業外費用合計	16,231
経常損失(△)	△514,400
税引前四半期純損失(△)	△514,400
法人税、住民税及び事業税	1,717
法人税等合計	1,717
四半期純損失(△)	△516,118

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	8,660

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

当社は2023年12月14日付でKxShare1号投資事業有限責任組合及び2023年12月15日付でKxShareHW投資事業有限責任組合から第三者割当増資の払い込みを受けました。当第3四半期累計期間において、資本金79,998千円及び資本剰余金79,998千円が増加しております。

また、当社は2024年5月9日付で株式会社ウィルグループから第三者割当増資の払い込みを受けました。当第3四半期累計期間において、資本金149,999千円及び資本剰余金149,999千円が増加しております。

以上の結果、当第3四半期会計期間末において資本金が328,998千円、資本剰余金が2,510,432千円となっております。

(セグメント情報等の注記)

**【セグメント情報】**

当第3四半期累計期間（自 2023年10月1日 至 2024年6月30日）

当社は、HR tech事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社は、HR tech事業の単一セグメントであり、主要な顧客との契約から生じる収益を、サービス区分別に分解した情報は以下のとおりであります。

当第3四半期累計期間（自 2023年10月1日 至 2024年6月30日）

(単位：千円)

	サービス区分別		合計
	Zキャリア	back check	
売上高			
一時点で移転される財	1,240,920	58,993	1,299,913
一定期間にわたり移転される財	758,369	365,156	1,123,525
顧客との契約から生じる収益	1,999,289	424,149	2,423,439
外部顧客への売上高	1,999,289	424,149	2,423,439

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	当第3四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
1株当たり四半期純損失(△)	△75円99銭
(算定上の基礎)	
四半期純損失(千円)(△)	△516,118
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る四半期純損失(千円)(△)	△516,118
普通株式の期中平均株式数(株)	6,791,741
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため、また、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。